

神谷かずとし 後援会広報誌

大地

daichi

— 第4号 —

発行所 神谷かずとし後援会

〒471-0841 豊田市深田町1丁目81番地

TEL (0565) 77-2001 FAX (0565) 77-7304

発行責任者 奥田清仁

発行日 令和3年1月1日

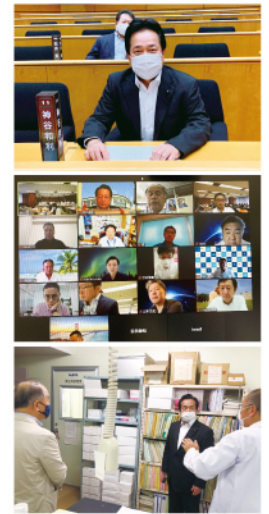


ごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスという未曾有の感染症が全世界に蔓延し、人々の生活様式を一変させ、地域運営や学校生活にも大変な制限が課せられました。11月からの第3波にまさか私自身が当事者の一人になるとは夢にも思っていませんでしたが幸いにも軽症であったため、10日間の療養で社会復帰できましたが、関係の皆様には多大なるご心配とご迷惑をおかけしました。また保健所をはじめとする行政機関や医療・福祉の最前線で昼夜を問わず尽力されている皆さんに改めて敬意と感謝を申し上げます。今年の前半には予防ワクチンの接種も始まると聞いています。1年遅れの東京五輪・パラリンピックが「人類がコロナに打ち勝った証」として開催され、通常の生活を取り戻すことを心から祈念いたします。その日が来るまでは、コロナ感染症や生活苦で苦しむ方々を救済しなくてはなりません。行政に課せられた最大の使命は、住民の生命を守ることにあります。

今後とも皆様からご付託に応えるため、地域の皆様方の声に耳を傾けてまいりますので、ご指導・ご鞭撻をお願いいたします。結びに今年1年、皆様とご家族様のご健勝とご多幸をお祈りし、年頭の挨拶といたします。



神谷かずとし

県政 レポート

県政
レポート
1

令和2年9月議会一般質問

新型コロナウイルス感染症の影響は、社会経済に深刻な影を落としている。国内企業数の99.7%を占め、我が国の経済基盤を形成している中小企業は、今般のコロナ禍の影響の中、資金不足により、事業継続も危うい状況に陥っている。そこでコロナ禍における中小企業・小規模事業者に対する支援策について質問した。

質問① 緊急対策の効果、融資実績とその評価について

答弁

県融資制度の実績は、9万5千374件、総額1兆1千411億円で制度創設以来、最大規模。経営環境が悪化する中、中小・小規模企業の事業継続のために必要とする資金を供給し、県内の資金調達環境の維持に大きく貢献している。手元資金を厚くして経営の安定を図ろうとする事業者の資金需要にも応えられている。無利子融資を利用することで、倒産回避や雇用維持にも効果があった。



質問② 今後さらなる資金繰り支援について

答弁

実質無利子、無担保、信用保証料ゼロの感染症対応資金の融資枠を1兆円から1兆3千億円へ引き上げる措置を講じる。中長期的には、継続的な資金繰り支援に加え、事業再生の取組などを資金面で後押しすることも必要である。引き続き中小・小規模企業の皆様の資金繰り支援に万全を期していく。

質問③ 官民協調による施策について

答弁

コロナ禍において経営基盤が脆弱な中小・小規模企業への影響が深刻となっている。中小・小規模企業の声に耳を傾けながら、それぞれの課題にふさわしい体制を整え、企業や金融機関、支援機関を始め、各種専門家などとも連携し、ワンチームとなって支援を進める。

県政
レポート

質問④ 次期愛知県産業労働計画策定における、新型コロナウイルス感染症の影響について

答弁

計画の素案では、緊急対策として「新型コロナウイルス感染症への対応」を施策体系の冒頭に位置付け、資金繰りや雇用を支える「緊急支援」、テレワークの導入や感染症対策に資する新サービス・新製品の開発などを支援する「強靱な経済構造の構築」、プレミアム商品券やクラウドファンディングの活用により、経済活動を成長軌道に戻す「需要喚起」3つの視点での取組を進める。

県政
レポート

2

新型コロナウイルス感染症対策予算額

2月補正予算から11月補正予算まで8度にわたる新型コロナウイルス感染症対策予算額の総計は3千118億円に上り、愛知県の一般会計予算規模(2兆5千万円)の1割を超えています。

県政
レポート

3

【農林水産委員会】 県内調査を実施しました。

①「愛知県立農業大学校」

農業を支える担い手を育成するため、農業の実践教育や研修を行なっています。スマート農業の実践として、新設のトマト栽培施設も見学しました。

②「愛知県中央家畜保健衛生所」

家畜の伝染病予防のため、各種疾病に関する検査などを実施している施設で、豚熱の感染が疑われる豚や野生イノシシの検体が最初に持ち込まれる施設です。豚以外にも狂牛病、鳥インフルエンザにも対応します。

③「安城鹿乗川排水機場」

新排水機場は平成14年に供用開始し、大雨による市街地や農地への水害を防ぐ役割を担っており、その能力は小学校の25mプールを15秒で排水します。現役、1基ずつメンテナンスをしています。



県政
レポート

4

一般会計・特別会計決算特別委員会

令和元年度の決算審査を13名の委員で実施しました。

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆様には健やかに新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。旧年中は大変な一年となりましたが皆様には格別のご支援を頂きましたことのお礼を申し上げる機会も無く誠に申し訳ございませんでした。昨年は新型コロナウイルスの猛威が世界中を巡り、日本においても春の緊急事態宣言解除後一旦は収まったかに見えましたが、第2波、第3波と感染者数は大きく増加し1日3000人を超えるに至り政府も年末年始のGOTOトラベルの全国一斉休止を決定せざるを得ませんでした。生命を守り安心した日常の暮らしを取り戻す事が出来るよう、一日も早く新型コロナウイルス感染が収束して欲しいと願います。

最後に今年1年が皆様にとって幸多い1年になります様ご祈念申し上げます。



神谷かずとし後援会 会長
奥田 清仁

お知らせ

令和3年1月 賀詞交歓会は中止といたします

令和3年1月 2021年伊勢神宮 参詣の旅は中止といたします

お伊勢さん

伊勢神宮に入り右に進んで行くと火よけ橋の手前に立派な松の木があります。困いがしてありますが何も書かれてありません。式年遷宮で作り替えられる全てのものにも名が残されていません。名工と言われる程の方々が作られたものだと思えます。言揚げすることもなく、最高の国民道徳があつてこのように続いてきたのだと思います。松の木は大正天皇お手植えとのことでした。

次回の「伊勢参詣の旅」を大勢の方々と参拝できますよう心待ちにしております。



広報部

神谷かずとし後援会事務所

〒471-0841 豊田市深田町1丁目81番地
TEL(0565)77-2001 FAX(0565)77-7304

お気軽にお立ち寄りください。

